ブース番号	出展団体名	問い合わせ用Email	ホームページURL	組織紹介	参入可能な農地や支援策/提供する技術/製品/サービス
1	兵庫県 姫路市	（兵庫県）nougyoukeiei@pref.hyogo.lg.jp （ひょうご農林機構・朝田）maeda_mika@forest-hyogo.jp （姫路市）noseisomu@city.himeji.lg.jp	https://web.pref.hyogo.lg.jp/org/nogyokeiei/index.html https://www.hyogo-shunou.jp/ https://www.city.himeji.lg.jp/sangyo/0000027522.html	・摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の五国で構成される兵庫県では、多様な気候風土と都市近郊の立地を活かして多彩な農業を展開。 ・京阪神の消費地に近いことや食品製造事業所が多く、6次産業化に取り組みやすいことから全国規模の法人が参入。 ・目的や段階に応じた各種支援制度のほか、公的機関による研修体制も充実。県内14カ所にある「就農支援センター」等が円滑な参入と経営発展をサポート。	【参入可能な農地】 ・県内には、多種多様な農地がある一方で、車で片道３時間圏内に京阪神大都市圏があり、流通・販売面で有利。 ・阪南市に位置する姫路市では、就農相談員を設置。市と農業委員会で協力し、農地情報の提供など、参入を支援。アグリルバー推進事業（市）や、農福連携マッチング事業（県）を活用し、労働力の確保にも取り組む。 【支援策】 1　事業収益 ・就農支援等で相談 ・就農研修ウィドゥンハブ ・市町、農地バンク等による農地保全活動 2　参入初期収益 ・農業施設の貸与 ・技術調査、加工品開発支援 3　経営発展収益 ・経営改善支援 ・技術調査、販路開拓支援 ・雇用就農、産業創出支援 ＜代表例：企業の農業参入推進事業＞ ・農業技術の習得(コンサルへの技術指導支援)や新商品の開発(試作品製造、委託加工)、販路の開拓（インターネット販売）、地域農業の活性化に資する取組（地域との共同活動）等にかかる経費を補助。H22年から50法人以上が活用。
2	北淡路土地改良区	kitaawaji-totikairyouku@nike.eonet.ne.jp	https://kitaawaji-totikairyouku.jp/	当該地区は気候が温暖であり日照時間も長く、農作物の栽培に適している。また、京阪神の消費地に近く、食品製造事業所が多いことから、6次産業化に取り組みやすいため全国規模の法人参入実績がある。	淡路島北部に位置する北淡路地区では、令和元年度より、農地の再整備に合わせて参入を希望する事業者を公募。温暖な気候や大阪から車で１時間という好立地を活かし、(株)パスワグループなど多くの法人が参入。
3	岡山県、公益財団法人岡山県農林水産業担い手育成財団	soujirou_aoe@pref.okayama.lg.jp	http://www.pref.okayama.jp/soshiki/49/ http://ninaiteokayama.or.jp/	・県庁農政企画課は、相談の総合窓口として、県関係課や市町村、関係団体等と連携し、情報提供や経営計画等の相談、地域との調整、補助事業等の紹介を行っています。また、担い手育成財団による農地中間管理機構業務推進本部や市町村と情報共有を図りながら、農地の確保・取得を支援しています。 ・農業普及指導センター では農業技術等を支援し、岡山県農業経営・就農支援センターでは課題解決に向き経営支援を行っています。	・岡山県は、岡山県は、瀬戸内海と中国山地に囲まれ、温暖で晴れの日が多いことから「晴れの国」と呼ばれています。中国山地を水源として瀬戸内海に注ぐ三大河川（吉井川、旭川、高梁川）は良質な水をたたえ、台風接近回数が少なく、地震もほとんど無いため、自然災害リスクが少ない、安定した農業経営が可能です。 ・農業の特色としては、米、苺産（瀬戸、生乳、肉用牛、ブロイラー、豚）、園芸（ぶどう、桃、なす、トマト）と多様な作目に取り組んでおり、特に園芸品目は品質の高さで知られています。 ・農地については、希望する条件に応じ、該当市町村と調整を取りながら、対応させていただきます。
4	公益財団法人三重県農林水産支援センター	nouchi@aff-shien-mie.or.jp	https://aff-shien-mie.or.jp/	当センターは、「農林漁業の担い手の確保・育成及び経営発展」、「担い手農家等が生産性の高い農業経営を目指すための経営規模拡大や農地集積・集約の取組」を支援しており、県から農地中間管理機構の指定を受けています。また、企業の農業参入の相談を受け つけており、県、県農業改良普及センター、市町及び その他関係機関が連携して、円滑に参入できるよう支援しています。	三重県は、気候は温暖で冬でも降雪は少なく、また中京圏・関西圏といった大市場圏の中間にあるなどの地に恵まれた県であり、販売のターゲットが多様です。集荷も家、伊勢志摩地域を始めとした有名観光地が多数あるため、情報の発信地としても期待できます。さらに、畜産面では、飲食やサービス業が占める割合が高いという特徴があり、農産物や食品を扱う事業者様にはチャンスの多い県です。 企業の農業参入支援では、随時、農業参入に向けたご相談対応、個別支援を行っています。また、農地の確保については農地中間管理機構と協力して支援しています。さらに、農業分野への新規参入や規模拡大等をめざす法人等を対象にみえ農業ビジネスプランコンテストを開催し、優れた農業ビジネスプラン提案者には優先的に農地を提供するほか、経営・技術・資金等の相談ができる充実したバックアップ体制を敷いています。 農業への参入希望またはご興味にある企業様におかれましては、ぜひ三重県にご相談ください。
5	広島県　農林水産局　農業経営課	noukei@pref.hiroshima.lg.jp	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/81/sannyu-guide2025.html	広島県は日本の縮図と言われ、南は瀬戸内海に面した柑橘産地から、北は積雪のある0℃帯まで、多種多様な農業物が生産されています。また、県内には、県庁を主体とした26.3の集落営農法人が経営をしております。高齢化に伴う担い手不足が深刻な課題となっています。そのため、スマート農業による省力化や担い手への農地集積と基盤整備に重点をおき、広島県内はもとより、県外からも担い手の参入の支援を行っています。	広島県では、農業経営課が窓口となり、県内外からの新規参入や規模拡大等を希望する企業の相談に対応しています。本県への農業参入を具体的にイメージしていただくために、「ひろしまworld新農業ビジネスモデル を作成し、パンフレットを配布しています。本県の豊富な資源の活用や、既存の担い手との連携など、特色を活かした事業展開を提案しておりますので、是非ご覧ください。また、企業誘致に前向きな市町からの構想提案も行っており、市町と連携して企業の新規の参入をサポートする体制も整っています。企業の新規の御要望を問い、県内関係部署等と連携しお応えします。まずは、お気軽にご相談ください！
6	大分県　企業参入・支援室	a15550@pref.oita.lg.jp	https://www.pref.oita.jp/site/sannyu/	大分県は、企業の農業参入や県外農業法人の誘致を積極的に推進しており、これまでに400件以上の参入実績があります。 農業参入等任意窓口として、県庁には「企業参入・支援室」、県内地方機関には「就農・参入支援班」を設置。品目選定から農地確保、営農計画作成、補助事業のご案内、現地視察のコーディネートなどご希望にあわせて対応いたします。 農業参入をご検討の際は、お気軽にご相談ください。	【大分県独自の農業参入支援策】 ・大規模園芸施設などの国庫補助事業に対する補助金加算 ・集出荷施設若休施設等の改修費用への補助 ・トラクター等汎用機械の整備費用に対する補助 ・参入後のアドバイザー派遣・栽培試験費用の補助など 大分県では温暖な気候を生かした露地果樹栽培や、高標高地での高原野菜栽培、夏冬の気温差が小さい沿岸部での施設園芸など、一つの県の中でさまざまな品目や作型の栽培が可能です。 【大規模園芸団地の農地紹介】 大分県では10ha規模の大規模園芸団地を整備し、園芸の産地形成を進める計画としており、集約化した農地のご紹介ができます。 基盤整備を伴うため営農開始まで５～10年要しますが、品目や営農形態に適したオーダーメイド方式での基盤整備も可能です。 また、すぐにご紹介できる農地もございますので、ご相談ください。
7	【大阪府】大阪農業つなぐセンター	Nougyou@gbox.pref.osaka.lg.jp	https://www.pref.osaka.lg.jp/o120090/nosei/osakaagriinnovation/osakaagritunagup.html	大阪府では、「大阪農業つなぐセンター」を設置し、農業参入をめざす個人や企業への就農相談と伴走支援を実施しているほか、ハートフルアグリ（農福連携）の推進、ボランティア等、農に関心のある企業と農家とのマッチング、半農・半Xの農作業体験など個人のライフスタイルに応じた農業への参画を促進しています。 電話　06-6210-9596	大阪農業は1haあたりの生産額が全国3位と、小さい面積でしっかり儲かることが特徴です。収穫量日本一の「しゅんぎく」を始めとした軟弱野菜や、“いちじく”や“ぶどう”など果樹の生産も多く、大消費地という地の利を生かした都市型農業が盛んです。 企業参入にもうを入れています。「大阪農業つなぐセンター」では伴走支援を行い、農地マッチングを実施しています。さらに、農地中間管理機構（一般財団法人大阪府みどり公社）とアドバイザーを配置し、農業計画の作成指導や、参入後の経営相談等のサポートに取り組んでいます。 企業のみなさま、流通網が発達し、販売先も多い大阪で農業しませんか！是非お電話を！ 電話　06-6210-9596
8	奈良県／公益財団法人なら担い手・農地サポートセンター	ninanou@office.pref.nara.lg.jp	http://www.pref.nara.jp/4606.htm http://www.nara-ninanou.sakura.ne.jp/	奈良県では、担い手・農地マネジメント課が就農及び企業の農業参入を支援しています。また、県内4カ所にある農林（農業）振興事務所でも就農及び企業の農業参入を支援しています。 （公財）なら担い手・農地サポートセンター(農地中間管理機構)では、農用地等を貸したい方（出し手）から農用地等を個り受け、農用地等の有効利用や農業経営の効率化を図る担い手（受け手）へ貸し付け、農用地等の集約・集積を進めています。	なら農と農の魅力創造国際大学校（桜井市）と担い手・農地マネジメント課（奈良市）では、農業の担い手の養成に向けた研修（アグリマネジメント学科２年間、農業新規参入育支援事業研修：約1年間）のほか、農業着、就農希望者等を対象として生産技術や経営、マーケティング等についての各種研修を実施しています。 県内4カ所（大和郡山市、橿原市、宇陀市、五條市）の農林振興事務所（北部・中部・東部・南部）では、農業者個人、団体からの要請等に応じて各生産者単位での生産・経営の指導を、農業研究開発センター、病害虫防除所（両方とも桜井市）では、新技術の研究開発や病害虫の発生予察、防除に関する情報提供等を行っています。 （公財）なら担い手・農地サポートセンター（橿原市）では、農地の貸借についての相談対応や農地の優り受け希望申込みの受け付けを随時しています。貸借の対象は、県内の市街化区域以外の農地です。
9	高知県	160601@ken.pref.kochi.lg.jp	https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025013100255/	高知県では、地域農業の核となっていく担い手の確保に力を入れており、地元と協働した企業の農業参入を支援し、平成27年度から支援メニューを充実して取り組みを進めています。これにより、企業が新たな地域の担い手として地元の人材を積極的に雇用するなど、地域の基幹品目の生産量、生産面積の維持が図られています。県の支援を通じて、平成27年度から令和６年度にかけて本県に農業参入した企業は22社です。	・参入可能な農地は企業の意向に応じて、農業参入の計画作りを支援しながら、市町村や農業委員会と連携して農地確保に向けた地元調整なども支援します。 ・パウスや生産関連施設の設備については、国庫事業と高知県単独事業の活用を支援します。 ・農業技術については、これまでの「経験と勘に頼った農業」から「データ蓄動型農業」への転換を図り、推進しています。県が構築したデータ連携基盤のIoPクラウドSAWACHIにより、パウスの環境データや出荷データ等を分析し、個々の生産者の状況を見える化し改善に向けた情報共有と効果的なフィードバックを行う新たな営農指導体制を構築しています。また、県の研修施設（農業担い手育成センター）を利用して、農業の知識や技術を学ぶことができます。 ・県の専門スタッフが栽培技術や農業経営などの指導を実施しており、技術面でもサポートします。また、今後の事業展開や課題についても相談を受け付けます。
10	福岡県	nousui@pref.fukuoka.lg.jp	https://www.pref.fukuoka.lg.jp/soshiki/4700103/	福岡県は、温暖で適度な雨量に恵まれ、河川沿いに広がる肥沃な平野から山間地域まで変化に富んだ地形の中で、多様な農業が行われています。 県では、福岡県農業振興推進機構等の関係機関と連携し、農業参入に関心のある企業等からのご相談に対応しています。	担当者による相談対応や各種情報提供等が可能です。 ・参入する地域の検討等に関する相談対応 ・本県農業に関する各種情報提供　など
11	佐賀県	agri-entry@pref.saga.lg.jp	https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00387855/index.html	佐賀県では、企業の新規が円滑な農業参入を実現するため、「企業・法人参入推進チーム」を発足し、農地情報の提供等の個別対応などスピード感を持った参入支援に取り組んでいます。佐賀県で農業をはじめませんか！	農業参入に適したまとまった農地（1ha～20ha程度）や参入を支援する補助事業（施設園芸におけるパウスの建設、作付け品目に合ったオーダメイドの基盤整備、機械導入やGS化（加工品製造機械、商品PKG係る費用）等をご用意しております。さらに、令和6年度からは「お試園芸８８パートナー企業登録制度」を制定し、企業・法人参入推進チームが関わった参入企業に、登録証の掲示や佐賀県ホームページでの紹介、担当した職員が異動後も相談に対応するパーマネントスタッフ配置等の取組も行っており、充実したサポート体制で支援しています。
12	熊本県	ryuutsuuaguri@pref.kumamoto.lg.jp	https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/73/	熊本県は全国有数の農業県であり、恵まれた自然環境のもと多彩な農業が可能です。 本県では、平成21年度から企業の農業参入を重要施策とし、専門部署「流通アグビジネス課 企業参入・６次化支援班」を設置し、スタートアップから参入後の営農まで、トータルサポートします。	熊本県は企業経営のノウハウを活かし、農業に挑戦される企業を応援します。参入の検討段階の計画づくりから農業経営まで、総合窓口としてワンストップで支援しており、農業経営に必要な機械・施設、加工施設等の独自の補助制度を設けています。 また、本県は試験研究や技術指導機関も充実しており、市町村との調和や農地取得についてバックアップします。
13	宮崎県	ninaitenochi@pref.miyazaki.lg.jp	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/	宮崎県では、「日本のひなた」と呼ばれる温暖多照な気候、平地から山間地に至る変化に富んだ地形など恵まれた資源を生かした農業を展開しており、宮崎牛や完熟マンゴーなど、全国に誇るブランド品目があり、農業産出額は全国第6位、全国有数の食料供給基地として重要な役割を担っており、今後さらなる産地の規模拡大や継続的な魅力あるみやざき農業の実現に向け、参画していただける企業の新規をお待ちしております。	・農業参入の相談、事前の情報収集 ・参入プランの作成 ・農地の確保 ・農業技術の習得、生産手段の整備　など
14	近畿農政局経営・事業支援部	toyoki_okamoto750@maff.go.jp	https://www.maff.go.jp/kinki/seisaku/keiei/kouritu/sannyuu.html#jirei	【農林水産省は、企業の農業参入を応援します】 農林水産省ブースでは、全国自由化されているリース方式（農地を借りる方法）による企業の農業参入の仕組みや、農地中間管理機構（農地バンク）について説明します。 また、「農業経営支援策カタログ」等に記載した各種支援策も紹介しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。	【企業参入に関する各種制度、支援策を紹介します】 農林水産省では、農地の貸し借りの全国情報や農地のリース制度や農地中間管理機構（農地バンク）の仕組みについて紹介しています。 また、農業経営の発展に活用できる支援策などがありますので、農林水産省ホームページなどをぜひチェックしてください。 （農林水産省ホームページ） ・企業等の農業参入について https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/sannyu/kigyou_sannyu.html ・農業経営支援策カタログ https://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_pamph/180529.html
15	つくばアグテック株式会社	弊社Webサイトより、お問い合わせをお願いいたします。 （Emailは非公開）	https://tsukuba-agtech.com/	弊社は「日本の食と農を世界に広める」を理念として、農林水産省や国際協力機構(JICA)等の公的機関からの受託などに、国内外で農業関連調査や民間企業の事業支援を行ってまいります。現在は日本政府の事業にて、農業系スタートアップの支援に実施中です。農業参入には多くの課題が伴うため、弊社のような哲学門家の伴走支援が必須です。農業・農村開発業務の実績と知見を活かし、伴走支援を提供します。	農業は植物や動物という「生物」、気象や土壌などの「自然」を相手とする相手にユニークな産業です。そのため、農地や地域の条件、作物の選択、ブランディングなどにより売上高が大きく変動します。特に重大な課題は生産した農産等物の販路開拓であり、一般的な企業経営の予測手法、特に工業的な工夫とは対応が困難な点が多く存在します。そのため、農業分野に精通した専門家の支援が不可欠です。弊社は農業工学分野の専門家として、国内外の農業系民間企業様の事業支援実績を複数有しており、その知見を活かして農業参入を検討される企業様をサポートします。本格的に農業参入を検討されている民間企業様には、初回にオンライン２０分の無料コンサルティングサービスを提供しております。さらに「農業参入フェア2025」参加者様の特典として、必要に応じて農地などの現地視察も対応可能です（旅費は依頼者様負担）。有料コンサルティングでは農業参入の課題整理、農地確保に伴う周辺農家への聞き取りや調査地域選定、法制度や農地取得に関する情報調査、国内外の事業検討、人材・ノウハウ確保の方法、初期投資から収益化までの見通し解説など、包括的な支援を行います。
16	ネクストイノベーション株式会社	info@next-innovations.net	https://next-innovations.net/	営農型太陽光発電と施設園芸ハウスを融合した次世代農業設備「アグリソーラーハウス」の設計・製造・販売を一貫して行う企業です。自家消費型モデルによる電力削減と高度な環境制御を実現し、農業IoTや多機能型栽培コンテナの開発にも取り組み、持続可能で収益性の高い農業インフラの構築を目指しています。	当社の主力製品である太陽光パネル一体型施設園芸ハウス「アグリソーラーハウス」は、日本全国の農地（農地・施設園芸地・耕作放棄地）で導入可能です。特に電気代高騰や労働力不足に直面する施設園芸農家、農地再生を進める自治体・農業法人に適しています。自家消費型モデルでは電力削減・環境制御・作業効率向上を実現し、売電モデルではPPA事業にも対応します。農業IoTシステム「アグリネット」は入機能の搭載を予定しており、データによる営農最適化を支援します。多機能型栽培コンテナ「アグリコンテナ」は、温度管理・排水構造・菌物と根菜の2way対応・培地選択の自由度など、高度な栽培環境を備えています。関連会社あぐりビジネス（株）と連携し、ハードから栽培指導まで一貫したソリューションを提供します。
17	大和フード＆アグリ（株）	dfa_info@daiwa.co.jp	https://www.daiwa-grp.jp/dfa/	大和証券グループ本社のグループ企業として2018年11月に設立、自社で農園子会社を通じてオランダ型大規模施設園芸による3ヘクタ（大分県、1ha）、パプリカ（静岡県3ha、北海道2.3ha）の生産、販売、加工品開発を行ってきました。 このノウハウを結集し、2023年6月より「伴走型農業コンサルティング」として、農業参入支援、農業事業の推進サポートのサービスを立ち上げています。	農業参入の検討から、実際に生産・販売活動を軌道に乗せるところまでワンストップで伴走します。また、農業参入後の事業継続にかかる支援や、諸事情による撤退、生産設備譲渡についてもご相談が可能です。 ・農業事業参入にかかる事業構想立案 ・生産立地の探索、選定 ・参入手段としてのM&Aプロセスの伴走 ・補助金取得 ・（主に大規模施設園芸による）生産設備設計から竣工までのマネジメント ・（主に大規模施設園芸による）竣工後の設備運営、再栽物の栽培・生産指導 ・再栽物の販売支援 ・加工品開発支援